

がんばろう！東北

つなげよう！
まもろう！ あおりのかわとみち



青森河川国道ニュース



ご意見は
こちらまで

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577
平成26年8月20日（水） 第216号

出前講座を実施～岩木川流域の歴史と河川管理～



【会場の様子】

平成26年8月8日（金）、中泊町中央公民館において行われた「中泊町高齢者教室」で、出前講座を実施しました。この教室は、中泊町の高齢者を対象とした学習の場で、毎月1回、様々なテーマで開催されています。

今回は、「岩木川の歴史」について、話を聞きたいとのことで、当事務所に対し、出前講座の要請がありました。集まった約120人の皆さんの前で、当事務所の担当者が、約1時間、お話をさせていただきました。

中泊町など岩木川下流部は、かつては低湿地帯で、腰まで田んぼに浸かりながら、農作業が行われていました。十三湖の水戸口突堤が作られ、岩木川・十三湖の堤防が整備されたことにより、現在のような農地、宅地として土地利用ができるようになりました。

出前講座では、こうした治水事業の歴史や、洪水の記憶などについて、古い写真や図面などを使いながら説明しました。会場からは、「かつての洪水の時は、川の水で手を洗えるくらい、堤防ぎりぎりまで水位が上がったのを覚えている」といった声もありました。

また、岩木川下流の広大なヨシ原は、岩木川の特徴のひとつです。岩木川下流のヨシ原は、オオセッカなどの貴重な生物が生息する場にもなっており、地域の宝となっています。近年、ヨシ原を守るための人の手が入らなくなり、樹木や外来種が侵入するなど、ヨシ原の環境が悪くなってきている状況についても、お話しさせていただきました。



腰・胸まで田んぼに浸かって行われていた過酷な農作業。「腰切田」、「乳切田」と呼ばれた。田んぼから出るため、引っぱり上げてもっている様子(写真右)。田んぼに腰まで浸かっている様子(写真左)。～水戸口50周年記念誌より



近年、一面のヨシ原に、樹木の侵入が見られるようになってきました。

(津軽大橋下流右岸)

青森河川国道事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/index.html>

「出前講座」については、ホームページをご覧ください。 事務所HP > 総合学習 > [出前講座](#)